

ドーピング まめちしき!

Vol.24

嶋元医院 院長 嶋元 徹

ドーピング検査を行う検査員(DCO)の経験者

荷物の最終チェック!

秋のスポーツシーズン到来! 10月には「希望郷いわて国体」も始まり、これから各種大会も増えてくると思います。練習をしっかりと、コンディションを整え、最後は荷物チェックを忘れずに!

まず、絶対に必要な物は保険証です。医療機関を受診する時は必ず保険証が必要になります。ない場合は治療費の全額負担となりますので注意が必要です。また、保険証のコピーは使用できませんので必ず保険証そのものを持っていくようにしてください。

次に、喘息など基礎疾患を持っている選手は必ずいつもの処方薬を忘れずに持っていきましょう。その際には、その薬がドーピングに抵触しないかどうかを必ず自分で再度、チェックしましょう。自分で確実にわからない場合は主治医の先生に問い合わせるか、スポーツ医・科学サポートセンターへ照会してください。また、お薬手帳などは現地で、体調を崩したり、救急搬送などで医療機関受診時に有用な情報となります。使用している薬剤がわかる書類も持参しましょう。また、治療のため禁止薬を使用している選手は必ずTUE* (治療使用特例)の確認を忘れずに! (*Therapeutic Use Exemption)

また、朝夕が冷え込んできますし、体調を崩しやすい選手は常備薬を持参すると思います。この際も必ずスポーツファーマシストや、当センターへ使用可能かどうか問い合わせ持参しましょう。またサプリメントを使用中の選手は、JADAのホームページから「JADA 認定商品」であることを確認してください。それ以外のサプリメントは使用禁止です。

アンチ・ドーピングには、常に最新の情報が重要です。JADAのホームページでは各種規則や最新の情報が掲載されています。使用できる薬剤やスポーツファーマシストの検索も可能となっていますので、選手のみならずコーチや監督の方々も常時チェックするように心がけてください。また、日本薬剤師会のホームページでは、「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック 2016年版」が公開されています。スマートホンなどにダウンロードしておけば遠征先でも簡単に薬剤の検索ができますので便利に使えますと思います。検索の際は必ず薬剤の正式なフルネームで検索してください。

アンチ・ドーピングに関する正しい知識を持ち、しっかりと準備をして大会に臨みましょう。